



とはいえ、声はかかってた。公募も終わってみればあっさり

1. 2013年に、2つほどPIに応募。書類通過。面接で落ちる。
2. 准教授のお誘いもあり（遠方なので断る）
3. 2014年に、明治大学の公募を見つける。応募。まさかの採用（学部知り合いせい）。PI公募は3件出して終わり。2014年は応募1件だけ。

○自分の興味と時代の流れは合わせた。当時は二酸化炭素からの物質生産なんて、研究ではないと言われた。  
○失敗から学ぶ。次の時には修正。  
→落ちると「コネだとか、出来公募だ！」とかいう人がいるが、時間の無駄。自分ができていることに集中。  
○Publicationだけで採用は決まらない

時代の流れを先読みし、自分の興味と合わせた方針  
作りが良かった。